



◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆

5分で鍛える英会話 GYM 【トロント直送のネイティブ英語】

～ 今日のワンポイントレッスン

'No Offense/ Offend' って一体どう使うのか? ～

◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆□◆

Vol. 189 November 22, 2012

二十歳以降の外国語学習はスポーツと同じ。

日々の地道なトレーニングが欠かせません。

TOEIC は良くてスピーキングが不安、

電話会議が怖い、留学先で英語が通じず愕然・・・。

そんなあなたに、ネイティブが実際に使う口語表現を

カナダ・トロントからお届けします。

目指すは、どこへ行っても確実に通じる、英語らしい英語！

QLS LANGUAGE GYM

<http://www.qlslanguagegym.com/index.htm>

'No Offense/ Offend' って一体どう使うのか?

'No offense' あるいは 'I hope you are not offended.' という表現を日常会話の中で聞いたことがある方、結構多いのではないのでしょうか? ところが 'Offense' というスポーツで使われる 'Offense/ Defense' のオフェンスを思い浮かべる方も多いようです。今回はこの 'Offense/ Offend' の使い方を取り上げてみました。それではいつものように例を見ながら学習しましょう。



最初の例です。魚が全く食べられない友達が日本に行こうとしていることにコメントする場面を思い浮べてください。

A: "So what do you think about those people who don't even like to eat fish and go visit Japan?"

B: "Well, you know what I think. If you can't even eat fish, you shouldn't think about visiting Japan. If you are, I have to say that you don't know what you are doing. David, 'No offense' (この発言をした時に魚を食べられず、かつ日本に行こうとしているデービットが偶然そばにいて、デービットに対して悪気はないことを伝えています。)"

C: "None taken."

A: "So anyway, you know, I just gave you my honest opinion. Don't get me wrong. I have nothing against those people visiting Japan."

A: "魚も食べれないのに日本に行こうとしている人たちがいるけど、そういう人たちのことをどう思う?"

B: "率直に言わせてもらおうと、魚も食べられないやつは日本に行くなって言いたいね。もし行こうってやつがいたら、自分で何をしようとしてるのか全く分かってないんじゃないかな。ごめんデービット、悪気はないから。"

C: "別になんとも思っていないから大丈夫。"

A: "とにかく、俺は正直に言ったままで、別にその人たちが日本に行くことに反対しているわけじゃないから。"

それでは次の例を見てみましょう。菜食主義者について話をする場面を思い浮べてください。

A: "So what's your opinion?"

B: "Well, for whatever reason, I can't imagine why some people never eat meat. I think the idea of being a vegetarian is kind of absurd to me. Jane, I hope you don't feel offended by what I just said because I have nothing against vegetarians."

A: "Don't worry. I know."



A: “それであなたはと思うの？”

B: “どんな理由があるか知らないけど、肉を全く食べないなんて想像もできないし、菜食主義者になるなんてばかげてるよ。ごめんジェーン、今自分が言ったことを嫌な感じにとらないでね。別にベジタリアンに対して反感を持っているわけじゃないから。”

A: “大丈夫、分かってるから。”

もうお分かりですね。今回のこの 'Offense/ Offend' は '人の気持ちを傷つける' という意味で使われます。この表現はいろいろな形で極めて頻繁に使われますので、今後はしっかり意味と使い方を理解した上で使うようにして下さい。

5分で鍛える英会話 GYM 【トロント直送のネイティブ英語】、

↓ 復習は下記ウェブサイトの「Archive」でどうぞ(過去 10 回分のみ掲載)。

<http://www.qlslanguagegym.com>

当メルマガのバックナンバーも上記ウェブサイトにてご覧いただけます。

Copyright (c) 2012 QLSeeker Canada Inc.

◆■◆

発行責任者: キューエルエス

発行元: QLS LANGUAGE GYM

公式サイト: <http://www.qlslanguagegym.com/index.htm>

ご意見・ご感想: info@qlslanguagegym.com